



# Amazing Grace

「イエス・キリストの御復活を祝って」

牧師 飯田勝利

みなさん、はじめまして。結城福音キリスト教会の牧師をしています飯田勝利と申します。昨年10月に笠間から結城に引っ越してきました。どうぞよろしくお願ひします。

結城に来て以来、改めてその美しさに気づかされたものがあります。筑波山です。鹿嶋市に住んでいた時には、北浦越しに小さな筑波山が見えました。石岡の教会に行っていた時にも筑波山は見えましたが、それほど印象的ではありませんでした。しかし、結城から見える筑波山は優美で品があり、その端正な山立は「結城筑波」と名がつけられるほどのものだと聞きました。散歩に行くと必ず筑波山が目にとまりますが、一枚の絵のような風景がすぐそばにあるのは何と幸いなことだろうと思ひ、神様に感謝しました。

そんな美しい筑波嶺の麓にも春の息吹を感じる頃になりました。教会では春頃になるとイースターというお祝ひ事があります。イースターはイエス・キリストの御復活を祝ひ、礼拝をささげる教会の行事です。今から約二千年前に、今のイスラエルにあるエルサレムの町で、イエス・キリストは金曜日に十字架に架けられて死に、墓に葬られました。しかし、それから三日目の日曜日に復活されました。

この復活信仰は、キリスト教の大きな特徴です。死んだ人間が復活するなど信じられないことかもしれません。しかし、聖書によれば、イエス・キリストは死に対して勝利し、復活されました。それゆえに、この方こそ真の救ひ主であるとキリスト教会は告白し始めました。そして、イエス・キリストが復活された日曜日に礼拝をささげながら、毎週、聖書のメッセージを人々に伝えて今日に至っています。

今年のイースターは4月8日の日曜日です。その日、世界中の教会がイエス・キリストの御復活を祝ひ、礼拝をささげます。結城福音キリスト教会でもイースター礼拝を行います。そして午後は、楽しい交わりの時を野外で持ちます。日曜日の礼拝はどなたにも開かれています。お気軽においで下さい。お待ちしております。

結城福音キリスト教会(日本キリスト教会連合)  
牧師 飯田勝利 結城市大字結城603  
0296-33-4359 <http://www.church.ne.jp/yuki/>

## 定例集會(毎週)

教会学校(ミラクル)(日) 9:00- 9:45

聖日礼拝 (日)10:30-12:00

聖書の学び、祈り会 I(水)10:00-12:00

聖書の学び、祈り会 II(水)19:30-21:00

## YCC(Yuki Culture Course)

### ♪♪賛美・コーラス♪♪

声楽家指導で賛美・コーラスを楽しく  
5月13日(日)PM1:00~3:00

### ✠✠聖書歴史講座✠✠

壮大な聖書の背後の歴史を学びます  
(11月18日)

### \* \*健康スペシャル\* \*

大切な健康について毎回、専門医をお招き  
してお話をうかがいます(9月)

### ♪♪ミニチャペルコンサート♪♪

ピアノ演奏や賛美を楽しみます  
(12月16日)

# 聖書豆知識

## ◎「忘れがたき故郷」に「いつの日にか帰らん」

♪♪ 兎追いしかの山 小鮎釣りしかの川  
夢は今もめぐりて 忘れがたき故郷 ♪♪

ご存知、唱歌『故郷』の一節です。

東日本大震災の被災地を訪れたアーティスト、ミュージシャンたちは、被災者の方々からしばしばこの歌をリクエストされたそうです。この歌詞とメロディーが言いようもない懐かしさと慰めといやしをもっているからなのでしょう。被災者の方々が、涙を流しながらこの歌を合唱する姿に深い感動を覚え、音楽というものの力をあらためて知らされたという歌手たちも大勢いるとのこと。

♪♪ 如何にいます父母 恙なしや友がき  
雨に風につけても 思いいずる故郷 ♪♪

たしかに、歌詞といい、メロディーといい、後世まで残る「美しい日本の歌」と言ってよいでしょうね。ある人はこの歌を、「民衆のレヴェルにおける日本の国歌と言っていい」とさえ激賞しています。

この歌の作詞者高野辰之（1876－1947）は、長野県の出身で、後に東京帝国大学で国文学を学び、東京音楽学校（現在の東京芸術大学）教授となり、日本学士院賞を受賞している大学者だそうです。作曲者は同じく東京音楽学校教授であった岡野貞一（1878－1941）。彼も出身地は地方、鳥取県でした。この地方出身の二人の望郷の思いが見事に結実したのでしょうか。この高野・岡野のゴールデン・コンビはほかにも、『朧月夜』『もみじ』『春が来た』『春の小川』など、私たちになじみの歌をたくさん作っています。

実は、作曲者の岡野貞一は敬虔なクリスチャンでした。彼は東京音楽学校教授でありながら、40年以上、東京の本郷中央教会のオルガニストとして毎週日曜日忠実に奉仕を続けてきたのです。聖書に「私たちの国籍は天にあります」ということばがありますが、彼は天国こそ自らが属する国、自らが安らげる「故郷」と信じていました。彼にとっては、「故郷」とは、鳥取県にある故郷だけではなかったのです。天にある「故郷」、「父なる神」のふところにいつの日にか安らぐことを願って彼は信仰の歩みをしてきたのです。その思いがああ美しい、懐かしい、胸に染み入ってくるようなメロディーとなって私たちをひきつけてやまないのではないのでしょうか。

♪♪ こころざしをはたして いつの日にか帰らん  
山はあおき故郷 水は清き故郷 ♪♪

いかがでしょうか。あなたも、決して変わることはない「父」（神）のいる天の「故郷」に思いを向けてみませんか。

(K.K)



教会学校☆ミラクル☆では、子供たちとともに聖書の言葉に耳を傾け、讃美の歌を歌い、お祈りをして礼拝をささげます。ミラクルはだれでも参加できます。参加費はありませんが、神様への感謝を表すために自由献金の時があります。

駐車場があります。保護者の方もどうぞ一緒にお出かけください。お待ちしております。